

平成29年度 事業報告

平成29年度は、中期計画に掲げる基本目標の実現に向け、シルバー人材センターの基本理念のもと、シルバー事業の両輪である「会員の拡大」と「就業機会の拡大」について、会員と役職員が一体となり積極的に活動を進めました。

会員数については、昨年度より入会者数の減少、また女性会員が減少したことから、本年度は857名となり4名減少しました。

シルバー派遣事業は、就労形態の適正化及び職域の拡大について積極的に取り組んだことから、契約金額が5千588万5千111円増額となり、就業延日人員についても12,565人の増員となりました。

請負・委任事業は、派遣事業への移行が多くなったことから、受注件数、配分金が減少し、契約金額は前年度を下回る3億2千284万3千円、前年度比率91.7%と減少しました。しかし、派遣事業の契約金額が増額となったことから総契約金額は、3億9千331万6千202円となり、前年度比で107.2%と前年度を上回る結果となりました。

安全就業は、安全パトロール員の定期パトロールに加え、安全委員会の委員による現場パトロールを実施したことから、草刈作業時の飛石による損害賠償事故は昨年度より減少しましたが、会員の就業中での傷害事故が増加しました。

安全委員会では、事故発生現場の現場検証を引き続き実施し、事故防止対策の検討を行っていきます。また、傷害事故の原因が、会員の高齢化によるもの、本人が注意を怠ったことによる事故が多いことから、事故防止については、会員の健康への意識啓発も含め重点的に取り組めます。

公益社団法人としては、地域に根差し、地域と共に歩むシルバー人材センターをめざし「伊勢まつり」や「福祉フェスティバル」等に積極的に参加し、普及啓発の推進及び市民交流に努めました。また、社会貢献活動としては、シルバーの日の早朝清掃や、各地区連絡会によるボランティア活動等に、多くの会員が積極的に参加していただき、会員の親睦及び市民の交流連携を図りました。

平成29年度の主な事業の実施状況については、以下のとおりです。

1 主な事業の実施状況

(1) 会員の拡大

- ① 会員の拡大は、シルバー事業を推進するための最重要課題として取り組み、会員募集の活動として、会員募集チラシを新聞への折り込みとポスティングにより各戸に配布、市の広報及び新聞等への会員募集広告の掲載、市内のスーパーマーケット及び商業施設の出入口でのチラシ配布等を実施しました。
- ② 会員数は、入会説明会を年11回開催したところ、参加者119名の内100名の方が入会されましたが、昨年度より26名減少しました。この結果、本年度の会員数は、入会者100名、退会者104名で前年度より4名減少し857名になりました。

(2) 就業機会の拡大

- ① 就業機会の開拓及び職域拡大等に取り組むため就業機会創出員を3名配置し、市内167事業所等の訪問を実施し、新たに1事業所からの就業機会を得ました。
- ② 未就業の会員及び長期離職の会員等に、情報交換及び就業アドバイスを行う「お仕事相談会」を毎月実施したところ、30名の会員が参加され22名の会員が就業の機会を得ました。また、就業率の向上を図るため、施設管理業務等の長期就業について就業形態の推進に努めました。

(3) 普及啓発活動の推進

- ① 会員拡大の推進に向け、地域住民へ情報提供及び理解を得るため、女性の会が中心となり「伊勢まつり」や「福祉フェスティバル」に出店を行い、多くの市民が参加する中でパンフレット等の配布やアンケート調査を行いました。
- ② ホームページの更新をはじめ、公共施設へのパンフレット設置、市広報誌「広報いせ」への掲載等により、受注開拓及び入会勧誘の普及啓発を行いました。
- ③ 会員への意識啓発及び情報の共有化を図るため、会報誌「伊勢シルバー」を年間2回（第23号・第24号）発行し全員に送付しました。

(4) 技能講習・研修等の充実

- ① 後継者不足が顕著で、一定の育成期間を要する職群の剪定・草刈等の技

術の育成及び刈払機の取扱いについて、会員と市民も含めた技能講習会を開催しました。

- ② 会員の就業に必要な知識や技能の取得及び会員募集への普及啓発として市民参加も含めた、介護、パソコン、料理等の文化講習会や剪定、草刈等の実技講習会を開催しました。

(5) 安全・適正就業の徹底

- ① 安全就業推進計画に基づき、安全委員会を5回開催し、現場安全パトロールに加え傷害及び損害賠償事故の現場検証を行い、再発防止に向け安全対策の意識の高揚を図る指導を実施しました。
- ② 損害賠償事故率の高い除草・剪定作業については、安全就業パトロール員を配置し、年間579件（125日）の安全パトロールを実施し、就業前の安全ミーティング等の実施及び安全保護具着用の徹底等の安全指導を行いました。損害賠償事故については、事故件数が減少したものの、まだまだ高い件数となっています。会員の傷害事故は、過去5年間で最高の件数となりました。なかでも、不注意によるケガ、高齢者ゆえの事故が多く発生しています。

傷害と損害賠償事故の経過

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
会員の傷害	3	2	6	10	16
損害賠償	7	15	7	19	11
計	10	17	13	29	27

- ③ 安全・適正就業強化月間中の取組みとして、7月に安全就業講習会（参加者17名）、1月に安全運転講習会（参加者5名）を開催し、就業途中の交通事故防止、日常の健康管理や自動車の安全運転の方法についての啓発に努めました。
- ④ 適正就業に関しては、「適正就業基準に関する取扱要綱」に基づき、施設管理等の長期継続就業会員に対し就業交代をお願いし、より多くの会員へ公平な就業機会の提供に努めました。

(6) シルバー派遣事業の推進

派遣と請負・委任の区分等に留意し、適正就業に基づく運営の確保に努

め、自動車運転業務、スーパー等の店内業務や調理関係業務等の指揮命令関係が生じる業務について、発注先と協議を行いシルバー派遣事業契約への移行に努めた結果、契約金額も約5倍の増額となりました。

(7) 事業運営の活性化

① 地区連絡会の推進

「地区連絡会設置要綱」及び「地区連絡会事業運営規約」に基づき、24地区の地区連絡会において、シルバー事業の活動促進、会員相互の親睦と連帯意識の高揚を推進するため、各地区連絡会による学校や公共施設等の清掃ボランティア及び親睦会等を開催しました。また、各地区で地区連絡会議を開催し来年度の活動計画の検討を行いました。

② 女性活動の活性化

「女性の会」の会員により、「伊勢まつり」や「福祉フェスティバル」の会場でシルバーコーナーを出店し、市民との交流及びセンターのPR活動を行いました。また、三重県シルバー連合会主催の「シルバーいきいきフェスタ2017」のアトラクションに参加し、伊勢音頭を披露し県内シルバー人材センターとの交流に努めました。他県のシルバー人材センターから、女性の会の設立及び運営方法等について視察を受けました。

③ しんみち連絡所の利用状況

平成28年度に開設したしんみち連絡所の利用状況ですが、会員の連絡用窓口施設だけではなく、女性の会のサークル及び地区連絡会の会議並びに会員の趣味の作品展等にも利用され会員の交流の場としての利用が高まっています。

本年度の「しんみち連絡所」は、延3,231名の会員等が利用し大盛況でした。